

ときめき★インタビュー



…プロフィール…

1983年2月6日、東京都足立区生まれ。中学3年生の時越谷市へ転入、栄進中卒業。2004年12月、EXILEのウォーカリストATSUSHI率いる4人組のR&BカラスグループCOLORを結成後、メジャーデビュー。2006年10月、ATSUSHIとともにCOLORを脱退。ソロアーティストKIKURIとしてスタートをきる。2007年2月、初ソロ曲「希望」を配信でリリース、6月には2曲目となる「君を想ふ」をリリース。ライブ活動、ミュージカル出演など積極的に活動を広げている。

メジャーデビュー後も
越谷を大切に

R&BシンガーのKIKURIさんは、中学校時代に足立区から市内の栄進中学校に転校し、その後現在までずっと越谷に住んでいます。

「アビューア前によく行ったカラオケ店、友達と歌ったライブハウス：街のいたるところに思い出がありますね」

昨年12月には、サンシティ大ホールで『チャリティーワンコインライブ』を開催。越谷の友人、ファンが集結し、大変な盛り上がりを見せました。

KIKURIさんが歌うR&B（リズム・アンド・ブルース）とは、現在は70年代のソウルミュージックなどの、ブラックミュージックが変化、洗練されてきた音楽のことで、宇多田ヒカルや安室奈美恵、久保田利伸やEXILE（エグザイル）などが、現代の日本のR&Bの代表的存在とされています。

「アビューア前によく行ったカラオケ店、友達と歌ったライブハウス：街のいたるところに思い出がありますね」

昨年12月には、サンシティ大ホールで『チャリティーワンコインライブ』を開催。越谷の友人、ファンが集結し、大変な盛り上がりを見せました。

KIKURIさんが歌うR&B（リズム・アンド・ブルース）とは、現在は70年代のソウルミュージックなどの、ブラックミュージックが変化、洗練されてきた音楽のことで、宇多田ヒカルや安室奈美恵、久保田利伸やEXILE（エグザイル）などが、現代の日本のR&Bの代表的存在とされています。

KIKURIさんは、そのEXILEのボーカルATSUSHIさんがプロデュースしたコーラスグループCOLORのメンバーと

して、2004年にメジャーデビューアしました。シングル4枚、アルバム1枚を発表し、2006年にグループを脱退、ソロシンガーとして第一歩を踏み出すことになりました。ソロデビュー曲は、翌2007年にインターネットで配信した「希望」。

2年間で音楽シーンを駆け抜けたCOLORですが、メンバー同士は今でもとても仲がよく、脱退はそれぞれがそれぞれの「希望」を抱いての発展的なものだったようです。

「尾崎豊」と「ステイ・バイ・ワンドーム」を

人の心に届く歌を歌い続けること。
そのためなら、どんなに辛いことがあっても頑張れる。

R&Bシンガー KIKURIさん



昨年末、南越谷のサンシティ大ホールで、チャリティーワンコインライブ「キクリックステーション」を成功させたR&BシンガーのKIKURIさん。ソロシンガーとして飛躍しようとする期待のアーティストにお話を伺いました。

KIKURIさんは歌に夢中になつたのは栄進中学校時代。「最初に好きになつたシンガーは尾崎豊。気持ちをマイクにぶつけるように歌う姿に感動しました」といいます。

そして、このころ、友人を介して同じく越谷出身で2歳年上のATSUSHIさんとの運命的な出会いがありました。「ATSUSHIさんがいなければシンガーの

自分はいなかつた」というほどATSUSHIさんを慕うKIKURIさん。そんな二人が出会い、初めてデュオを組んで歌つた曲は、ステイ・バイ・ワンドームの『レイトリー』という曲だったといいます。笑顔でそう話してくれるKIKURIさんは、この日一番と笑つていいほど楽しそうでした。

17歳～20歳のときには、ATSUSHIさんと中央市民会館の劇場で、毎年「卒業ライブ」を開催。卒業のシーズンに多くの中学生・高校生が集まり、「今でも越谷の思い出といえば『卒業ライブ』を

6月に東京・大阪でのコンサートを終えたばかりのKIKURIさん。今後の予定は随時、自身のホームページ(<http://www.kikuri.com/>)で告知をしていく予定です。

何を歌つかより、いかに生きるか

トを終えたばかりのKIKURIさん。今後の予定は随時、自身のホームページ(<http://www.kikuri.com/>)で告知をしていく予定です。

鍛え上げられた精かな体と、ひなたのよう明るく柔らかなその声で、わたしたちの心の真ん中にキレのいい歌を届けてくれることになります。

前は、ご自身の本名キクチに由来するそうで、名付け親はもちろんスティーヴィー・ワンダーの『レイトリー』という曲だったといいます。笑顔でそう話してくれるKIKURIさんは、この日一番と笑つていいほど楽ししそうでした。

ATSUSHIさんだったそうですね」と答えてくれたKIKURIさんは、今後はソロシンガーとして再びメジャーデビューを目指すことになります。